

建設業の面白さを伝える

東京舗装工業、米沢市の
高校で出前授業を実施

東京舗装工業（東京都千代田区、瀬良努社長）は5月26日、将来の担い手確保を目的に、山形県米沢市の県立米沢鶴城高校で出前授業を実施した。環境工学科土木コースの2年生15人が対象。前身校である米沢工

業高校出身の社員2人が、道路舗装工事の実際の施工事例やキャリアパスなどを紹介し、後輩たちに建設業の面白さを伝えた。写真（東京舗装工業提供）。

技術面では「建設DXが面白い！」をテーマに、同

社のMR（複合現実）技術
を体験。完成状態を再現し
た実物大の3Dモデルを、
MRデバイスを使って実際の
風景に重ね合わせて見る
ことができるシステムで、
体験した生徒たちは驚きの
声を上げた。

米沢鶴城高校は、米沢工
業と米沢商業の2高校を統
合し4月に開校した。

